



議会だより

千早赤阪

ちはやあかさか

特集 決算特別委員会 総括質疑



一般質問

藤浦 稔

燃えるごみなどの戸別収集を

井上 浩一

地域住民の移動手段は
奨学金返還支援制度を
ピロリ菌の検査を

徳丸 初美

災害時の戸別受信機は
B&G海洋センターのプール開放を

田村 陽

耕作放棄地の適正化を
近居・同居に積極的支援を

服部 幸令

小・中学校の安全管理・対策は
害獣対策・駆除の状況は
小吹台連絡所の開所日数縮小の反応は

vol. 146
Nov 2023
9月定例会

臨時議会（令和5年7月24日）

○可決された案件（賛成 5 人、反対 0 人・欠席者 平田議員）

令和5年度千早赤阪村一般会計補正予算（第5号）	職員の退職手当の増等
令和5年度千早赤阪村介護保険特別会計補正予算（第1号）	保健師確保のための事務委託費の増
動産の取得	新庁舎に設置する備品の購入

9月定例会

○全会一致で可決・認定・報告された案件（賛成 5 人、反対 0 人）

令和4年度健全化判断比率について	適正なものであると報告
令和4年度資金不足比率について	適正なものであると報告
千早赤阪村印鑑条例の改正について	行政手続きのオンライン化の一環としてインターネットによる印鑑証明書の交付を可能にする改正
千早赤阪村国民健康保険条例の改正について	雇用保険法施行規則の改正に伴う改正
令和5年度千早赤阪村一般会計補正予算（第6号）	6月2日の大雨災害による村道・奉建塔法面復旧工事の増等
令和5年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	令和4年度村診療所運営事業赤字補てんの増等
令和5年度千早赤阪村介護保険特別会計補正予算（第2号）	人事異動に伴う人件費の増等
令和5年度千早赤阪村下水道事業特別会計補正予算（第2号）	吉年地区下水道管渠布設工事の中止による減
千早赤阪村過疎地域持続的発展計画の変更について	森林経営管理制度事業、農道整備事業、地域公共交通事業の追加等
柏原羽曳野藤井寺消防組合への加入に関する協議について	消防広域化のため、柏原羽曳野藤井寺消防組合への加入についての議決
令和4年度千早赤阪村一般会計歳入歳出決算認定について	特集（P4～P5）を参照
令和4年度千早赤阪村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	
令和4年度千早赤阪村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	
令和4年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	
令和4年度千早赤阪村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	
専決処分（工事請負契約の変更締結）の報告について	カーポート、駐輪場等の追加に伴う新庁舎建設費用の増
令和5年度千早赤阪村一般会計補正予算（第7号）	庁舎警備業務、中学校修繕費等の増
特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書	特別支援教育支援員や看護師等専門家などの適切な配置を求めるもの

○不採択された案件

高齢者の聴力検査検診及び加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める請願書	(議長) 千福	井上	服部	徳丸	田村	藤浦
	—	×	×	○	×	×

平田常信議員の辞職について

令和5年9月5日付けで、平田常信議員から辞職届が提出されました。地方自治法第126条の規定にもとづき、議会において、同日付けで辞職許可しましたので、お知らせいたします。

議長コラム



村議会議長
千福 清英

今年の12月20日をもって路線バス事業（金剛バス）を廃業するとの書面が村に届いた。

私たち議員にとっては、突然の通知であり、驚きを隠せなかった。

金剛バスは1937年（昭和12年）より営業開始されており、富田林市、太子町、河南町、千早赤阪村のエリアでの運行により、近鉄富田林駅や喜志駅を起点として通勤・通学など、地域住民の足として多くの方々に利用されてきた。当然、私も利用してきた一人である。

バス路線は日常生活において、欠かすことのできない移動手段であり、事業廃止後の対策、対応が急務である。

私も、近隣の大手バス会社等に出向いて協力の要請を行うなど議員として出来ることはやった。

現在、関連する4市町村で地域公共交通活性化協議会が設置され、この協議会において今後の対策が検討されている。

また、高齢化が進む当村においては、独自の対策も必要である。

請願

高齢者の聴力検査・検診及び加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める請願書

（趣旨説明） 紹介議員 徳丸 初美

加齢性難聴による機能の低下は、生活の質を落とす要因となり、鬱や認知症の危険因子となっているため以下の点を要望する

- ・聴力検査・検診制度の創設
- ・耳鼻咽喉学会が認定した補聴器相談員を配置し、広報で周知
- ・補聴器購入に対する独自の補助制度の創設
- ・公的補助制度を求める意見書の提出

（反対討論） 服部 幸令 議員

本村は高齢者が多く少子高齢化がますます進む中、自主財源が減少することも考えると、独自の補助制度は厳しい。

（反対討論） 田村 陽 議員

耳鼻咽喉学会に該当すると思われる「一般社団法人 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会」において「補聴器相談員の認定」という制度がない。村としても、不明な制度に対応することはできない。

結果…不採択 賛成1人・反対4人

今月の表紙



森屋

伏見 碧唯 (あおい) ちゃん 8歳

伏見 衣織 (いおり) ちゃん 6歳

父 勝也
母 瑠利子

いつも仲良く笑顔がいっぱい
これからも明るく楽しく過ごしてね！

議会だより掲載内容の一部訂正について（お詫び）

議会だより「ちはやあかさか」（第145号）の掲載内容について、次のとおり誤りがありましたので訂正してお詫びいたします。

（掲載箇所） 2ページ 臨時議会議決結果

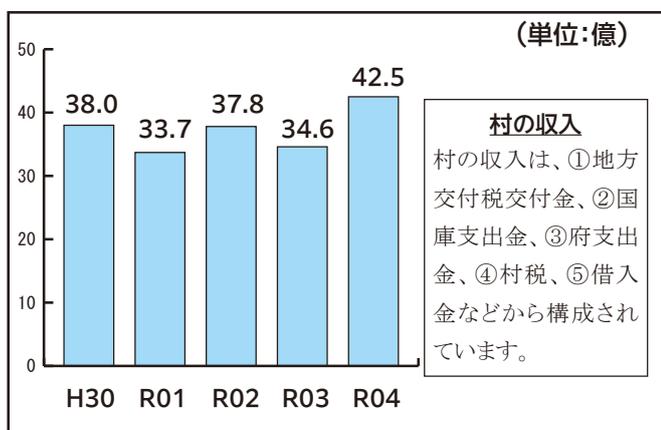
	議案	説明
○正	令和5年度千早赤阪村一般会計補正予算（第4号）	令和5年6月2日大雨災害復旧費（中学校、村道、 奉建塔 等）等の増（3213万円）
×誤	令和5年度千早赤阪村一般会計補正予算（第4号）	令和5年6月2日大雨災害復旧費（中学校、村道、 封建塔 等）等の増（3213万円）

令和4年度決算特集

令和4年度決算の概要

令和4年度の事業は主に新庁舎建設事業(4億9,748万円)、防災行政無線設備改良事業(6,076万円)、新型コロナワクチン接種事業(5,394万円)で、収入は例年より増加していますが、これは新庁舎建設等のために5.5億円借入れたことが主な要因です。

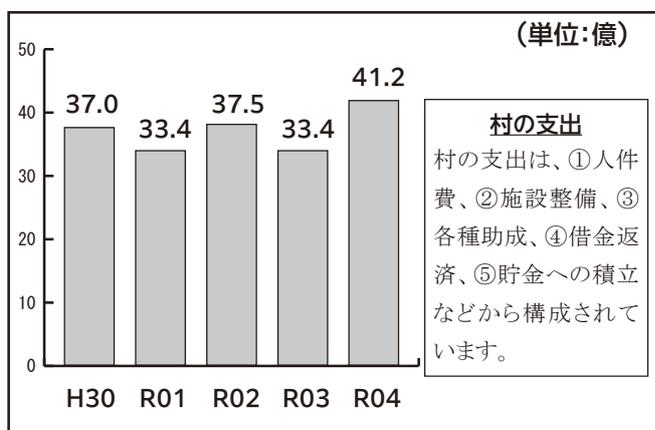
収入の推移



村税は毎年およそ5億円弱で、大きな変動はありません。ただ、長期的にはゆるやかな減少傾向が見られます。

年ごとの収入の差異は、主に借入金、地方交付税や国庫支出金の増減によるものです。

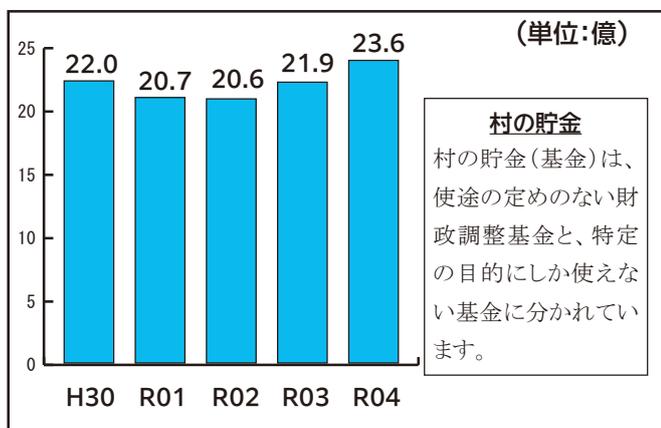
支出の推移



令和4年度の支出の増加要因は主に新庁舎建設により建設費が増加したことにあります。

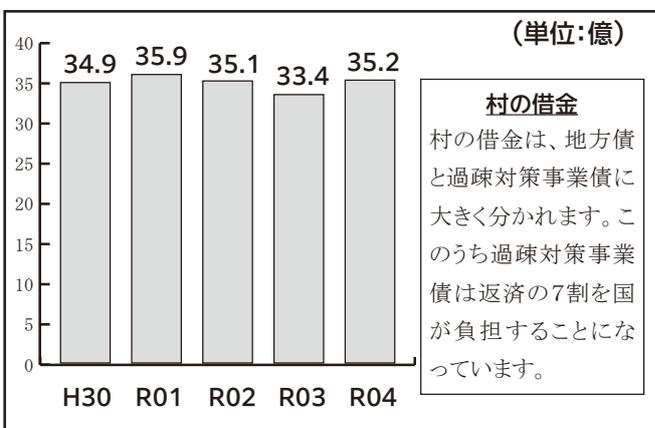
収入と比較すると毎年わずかに収入が上回るようになっていますが、これは支出にあわせて収入を増減させるためです(借金や貯金の取り崩しなど)。

貯金の推移



村の貯金も例年と比べて大きな変動はありません。新庁舎建設事業開始にも関わらず貯金額が増加しているのは、国から交付される地方交付税交付金や国庫支出金が増額されたことが大きいと考えられます。

借金の推移



借金も例年と変わりなく推移しています。新庁舎建設に伴い4年度の借入は5.5億円と前年度から4億円増加していますが、返済も3.8億円しており、増加は約2億円で留まっています。

※金額は百万の位で切り捨てたものを記載しています。

決算特別委員会

一般会計・特別会計について
の質疑から主なものを
抜粋いたしました。

●観光

問 楠公誕生地周辺活性化事業の進捗は。

答 令和4年度にコンセプト作りを行った。5年度は戦略を練っている段階。

問 地域活性化事業のワークショップに150万は高すぎるのでは。

答 若手職員の研修会も併せて行ったため。

問 大河ドラマ誘致で村のメリットは。

答 村の活性化を見込んでいる。

●野球教室

問 事業費は。

答 約186万円。町

村長会の補助金を活用。

問 野球教室は秘書課で行うべき事業か。

答 秘書課が町村長会振興事業の窓口となっていたため。

問 野球教室で30万円近いグッズを配っている。

答 地元を応援する意味で配布した。

●千早地区避難所

問 千早地区避難所は建設しないのか。

答 設置はしないという方向。

●戸別受信機

問 戸別受信機の設置台数が大幅に増加しているが。

答 千早地区全体で調査を行い設置した。

●旧野外活動センター

問 旧野外活動センターの測量に440万円かかっている。

答 公募を行い、1社と調整中。サウナ式のグランピング施設。

●地区

問 ちびっこ広場は地区の管理となっているが、負担が大きい。

答 地域活動等総合補助金を活用していただきたい。

問 ちびっこ広場のベンチが撤去されている。交換ではないのか。

答 令和5年度に改めて設置する予定。

問 地域活動等総合補助金の評価は。

答 今後も続けてほしい、使い勝手が悪い、申請書類が多いなどの

意見があった。

問 村が設置した花壇が花も植えられず放置されている。

答 草が生えないように維持するということが考えていない。

●防災

問 旧防災倉庫の今後は。

答 更地にし、駐車場等に予定。

●公共交通

問 バス・タクシーケットに使用期限を設けたようだが。

答 期限設定前は年度末に集中していたが、設定後は年度初めに集中するようになった。

●空き家バンク

問 空き家バンクは機能しているのか。

問 特産物育成事業で

答 村は把握していない。

●マイナンバーカード

問 マイナンバーカードと保険証の紐付け数は。

答 現状のシステムでは村では確認できない。

●教育

問 崩落した中学校法面工事の進捗は。

答 仮復旧として大型土のうを設置。本復旧の工法を検討中。

●農林

問 森林環境譲与税の用途は。

答 間伐材の搬出補助、森林経営管理制度等に使用の予定。

●国民健康保険

問 保険料が大幅に値上がりしている。

答 府下統一に向けて理解をいただくよう努めている。

はどういった特産物に補助を出しているのか。

答 「せとか」というみかんの一種。

●教育

問 崩落した中学校法面工事の進捗は。

答 仮復旧として大型土のうを設置。本復旧の工法を検討中。

●農林

問 森林環境譲与税の用途は。

答 間伐材の搬出補助、森林経営管理制度等に使用の予定。

●国民健康保険

問 保険料が大幅に値上がりしている。

答 府下統一に向けて理解をいただくよう努めている。

●国民健康保険

問 保険料が大幅に値上がりしている。

総括質疑

「総括質疑」は令和4年度決算に関して、会派ごとに村長に直接質問するものです。

日本共産党

Q 健康保険証とマイナンバーカードの一体化の際、カードを取得していない人への対応は。

A 国の動向等を注視しながら、対応する

日本共産党

Q 公共工事が年度末に集中することが多い。工事着工はどのようにして決められるのか。

A どの事業のことを指しているのか不明なので答弁できない。

日本共産党

Q 自衛隊への名簿提出に日本共産党は反対している。村も名簿を提出しているが、その経緯は。

A 令和4年度決算との関係性が見いだせないため、答弁できない。



平政会

Q 令和4年度の事務事業の評価をどのように行ったのか。

A 現在とりまとめを行っているところ。完了次第、議会に報告する。

平政会

Q 村長の就任から3年が経過。役場の雰囲気に変化は。

A 職員の意識も少しずつ変わってきていると認識している。

平政会

Q 村長は財政収支の観点から観光をどのように位置づけているのか。

A 必要な施策の一つとして考えており、大阪府等とも連携しながら今後も推進していく。

平政会

Q 村長は令和4年度決算をどの様に評価されているのか。

A 令和4年度決算の評価については、決算認定の説明で申し上げたとおり。なお、公約の大半は実現できていると認識している。

◆総括

日本共産党と平政会が総括質疑を行いました。ただ質問と答弁が一致していないものが多く、今回もすれ違いの印象の残る総括質疑となりました。

総括質疑の機会は年に2回しかありません。9月議会の後、正副議長と行政側と今後の質疑のあり方について議論しました。今後は活発な議論が行われることを期待したいと思います。



藤浦 稔 議員

【答】 今後ますます解決が困難な課題であると認識している。

【答】 今後ますます解決が困難な課題であるとして認識している。

【問】 燃えるごみなどの収集は、各地区や隣組などが設けた集積場所に出せば、村が委託している業者が持つて行くことになっている。戸別収集をする場合、道が狭く玄関

【答】 先まで収集車が来ることは無理であることは理解している。お年寄りの高齢化などが進み、ごみの集積場所まで持つて行くのが難しくなっている。早急に何らかの方法が必要となっているが、村はごみ収集の問題に今後どのように対応していくのか。

【答】 先まで収集車が来ることは無理であることは理解している。お年寄りの高齢化などが進み、ごみの集積場所まで持つて行くのが難しくなっている。早急に何らかの方法が必要となっているが、村はごみ収集の問題に今後どのように対応していくのか。



ごみ出し風景

課題解決に向け検討していく。
【要望】 役場は、ごみ出しで困っているお年寄りのことを真剣に考えてほしい。お年寄りのごみ出しの問題は、村にとって今後大きな問題になることは間違いない。お年寄りが、ごみを遠くまで持つて行かず近くに出すことで負担が軽くなる。村として、戸別に集める方法を考えてもらいたい。



ごみ集積場所



地域住民の移動手段は



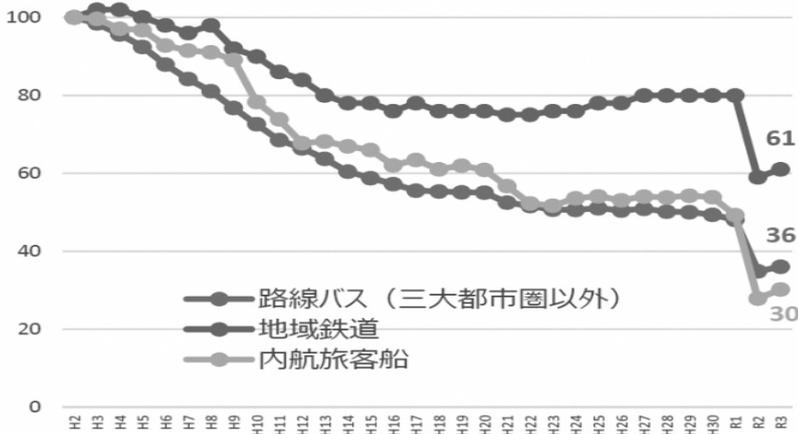
全力で取り組む



井上浩一 議員

路線バス、地域鉄道、内航旅客船の利用者数

H2=100とした場合の推移



（出典）「自動車輸送統計年報」、「鉄道統計年報」、「船舶運航事業者等の提出する定期報告書に関する省令」に基づく国土交通省海事局内航課調査より国土交通省作成

公共交通は社会問題となっていない、本村も例外ではない。努力してい

このような状況になる前に協議等は十分に

と思うが、現状と課題について伺う。

様々な要因から極めて厳しい状況だ、金剛バスが、本年12月20日でバス事業を廃止すると発表

と連携し、代替交通の確保を検討していく。

たのか、村は金剛バスにどの様な支援をしたのか、支援成果の客観的分析を伺う。

金剛自動車には平成30年から公共交通利用料助成事業を行い、昨年度は臨時交付金を活用し燃料価格高騰対策補助金を交付。また、ICカードシステム導入事業の予算確保していたが、同社が保守費用負担の懸案から事業を断念した状況だ。

今般、バス事業廃止の決断については誠に遺憾である。

早急に代替交通を構築しなければならぬが、どのように進めるのか。

1市2町1村で連携し、国・府の支援も得ながら、あらゆる交通事業者等の協力が得られるよう全力で取り組む。

逆転の発想で、よりよい体制構築を願う。

奨学金返還支援制度を

現在、大学生の2人に1人が奨学金を利用する。しかし、卒業後、「返済が苦しい。負担が重い」との声が多い。こうした利用者の負担軽減に向け、「一定期間定住し、就職する」等の条件で返還を自治体が肩代わりする制度がある、村でも実施できないか伺う。

制度の必要性は認識するが、村の現状を考えると直ちに実施することは困難だ。

令和2年に条件も緩和され、村独自の条件設定も可能なので検討を願いたい。

推進に努力しているが、ピロリ菌検査の無料化は出来ていない。検査の自己負担助成について考えを伺う。

国の胃がん検診ガイドラインに推奨されていない、現状では考えていない。

令和3年度の記録では、全国のがん検診実施市区町村の38%がピロリ菌検査を実施している。健康診断として実施できないか。

今後、国から推奨された場合検討する。

早期治療の観点から、情報提供等は大事ではないか。

現在も広報等で行っている、がんの危険要因の周知も重要だと考える。

情報があふれる現状で行政が発信される情報は、身近な信頼できる情報だ。有意義な発信を願う。

ピロリ菌の検査を

ピロリ菌は胃がんの原因菌として知られ、早めの除菌がよいとされる。村では胃がん検診の



問 災害時の戸別受信機は

答 全戸に戸別受信機を取り付けることは考えていない

問 災害時の戸別受信機について、台風や大雨の際は防災無線が聞こえにくい場所があり、避難が遅れて災害に見舞われることが予想される。これから起こりうる災害のこ



戸別受信機

とを考え、本村でも全戸に戸別受信機を取り付けられることを求めるが、村としての考えを伺う。

答 全戸に戸別受信機を取り付けることは考えていない。今後は、通信が影響を受けにくいSNSによる情報配信に移行していきたいと考えている。

に要望を受けて戸別受信機を取り付けるとしたら今年度何台まで可能か。

答 戸別受信機については今年度で20台分の設置は可能である。

要望 他の町では国の補助金で全戸に戸別受信機を取り付けたという例も聞いている。本村でも大きな災害が起こる前に、全ての住民の命を守るため近隣の市町にも聞き取りをし、進めてほしい。

徳丸初美 議員

問 年齢を重ねた方はスマホとか携帯を持ってもらえない方もある。防災無線が聞こえにくい地域

答 今年度は一般開放を再開すべくプール監視業務委託予算を確保し準備

B&G海洋センターのプール開放を

問 赤阪小学校でプールがなくなり、子どもたちはB&G海洋センターのプールを使用している。今まで学校が休みになると一般住民に開放されプールを利用することができた。今年度は住民に開放してない理由を伺う。

を行ってきたが、入札が不調となり監視員を確保することができなかったことから一般開放を中止したものである。

問 他の近隣の市町では実施されている所もあり、業者が入札に応ずることのできるような予算を取り組むべきではないかと思うが、考えを伺う。



B & G海洋センタープール

答 今年度も予算要求をし、27日間で417万円の監視業務委託予算で入札を行ったが、不調になり、開放することができなかった。

要望 子どもたちが楽しみにしている夏休みのプールである。来年度は子どもたちの希望を叶えていただきたいと思う。今、地球温暖化で暑い期間が長くなってきている。開放の期間も7月から9月までと延長することをなども含めて要望する。



耕作放棄地の適正化を



村長から指導は行っていない



田村 陽 議員

【問】平成30年6月議会で耕作放棄地への抜本的な対策を要望した。

【答】耕作放棄地の中にはすでに荒廃農地化しているものも多く、①害虫の発生、②野生生物の増加、③ゴミの不法投棄の誘発などの原因となつている。

耕作放棄地の増加により周辺の農地での耕作にも悪影響が出れば、さらなる耕作放棄地化の呼び水となる恐れもある。村として何かできることはないのか。

【答】農業委員会では所有者への草刈り等の保全活動の指導などを行っている。

【問】農地所有者が農業委員会の指導に従わない場合、村長からも指導しているのか。

【答】行っていない。

【問】草刈りに対し営農促進事業補助金が新設されたが現在の実績は。

【答】利用実績はない。

【要望】まず第一に、村長からも指導してほしい。

また現在の営農促進事業補助金は、耕作地を守ることで手一杯となつている実態に適していない。現在耕作しておられる農地を守るよう再検討を願う。

迅速な対応を強く要望する。

近居・同居に積極的支援を

【問】本村では一戸建ての新築や空き家の改修に限定されており、子供世帯と同居するために実家をリフォームする場合などは対象外だ。

【答】新規移住者を呼び込むことも必要だが、村で生まれた子どもたちに再び戻ってきてもらう取り組みも必要では。

【答】リフォームの補助は考えていない。

【問】村で生まれ育つた子が離婚などを経て村に戻ってきてても再び暖かく迎えてあげてほしいとの思いから質問している。

【答】新たにマイホームを建てるなら支援するが、建てないなら支援しないというのが村長の考えか。

【答】子育て世帯への支援に力を入れて取り組んできた。現時点ではリフォーム補助を創設することは考えていない。

【要望】検討すらしていないだけだが、我々の提案はそこまで意味のないものか。村長の政策で子供が増えているなら検討の必要もないかもしれない。しかし、減少が

【答】継続現状では検討するのが当然ではないか。もう少し議会の声に耳を傾けてほしい。

		河南町	太子町	千早赤阪村
新築	親との同居・近居	要	要	不要
	ひとり親	対象	対象	対象外
	住宅価格	100万円以上	制限なし	1000万円以上
	補助額	10分の1 (上限100万円)	10分の1 (上限50万円)	100万円
リフォーム	親との同居・近居	要	要	不要
	親居住の住宅	対象	対象	対象外
	工事費	100万円以上	100万円以上	制限なし
	補助額	10分の1 (上限50万円)	10分の1 (上限50万円)	2分の1 (上限10万円)

住宅取得・リフォーム支援政策の比較
太子町・河南町は親世代との同居・近居を重視している



問 小・中学校の安全管理・対策は

答 危機管理マニュアルを作成している

服部幸令 議員



千早赤阪村立中学校裏門（柵田側）

問 令和5年7月26日に富田林市向陽台の市立藤陽中学校に、刃物を持った男性が侵入し確保される事件があった。
小・中学校の安全管理及び対策について伺う。

答 本村の小中学校において、令和5年7月26日に富田林市向陽台の市立藤陽中学校に、刃物を持った男性が侵入し確保される事件があった。小・中学校の安全管理及び対策について伺う。

いては、「不審者侵入時のための危機管理マニュアル」を作成し、児童生徒の安全確保に対応できるようにしている。

問 中学校では、地権者以外に柵田へ行くことを希望する人達への対応はどうしているのか。

答 農林商工課で鍵の貸出を認めた人以外の通行はお断りしている。

問 中学校で被害などがどのくらい増えたのか、また、現状の害獣対策・駆除について伺う。

答 イノシシの捕獲数は、令和3年度は20頭、令和4年度は62頭と増加、農業共済組合からの支払共済金は、令和3年度は0円に対して、令和4年度は、18万3616円と増加している。

望 何よりも優先すべきは、生徒、教員の安全である。特に中学校の通り抜けには、事故が発生する可能性がある。中学校内の通り抜けには、農林商工課と教育課で連携し安全確保に努めることを要望する。

問 府内南部でシカの目撃が広がっているようである。被害は出ていないようだが、本村はシカへの対策は、

答 数年前からシカの目撃情報は、村としても把握している。状況を注視していく必要があると考へ、令和4年度に村鳥獣被害防止計画を改正し、二ホンジカを捕獲対象鳥獣として追加した。

問 6月議会でも一般質問をしたが、住民アンケート等、住民の反応は、肯定的と否定的なさまざまな意見がある。

答 アンケート調査では、肯定的と否定的なさまざまな意見がある。

害獣対策・駆除の状況は

問 令和5年度は、豚熱の影響も無くなりつつあるのか、イノシシの頭数が増えているとの情報も聞かれる。

小吹台連絡所開所日数の縮小の反応は

問 開所日を週5日から3日に縮小したことから、2日分の時間を別の業務に充てることで、当初想定どおりの効果が出ている。

答 昨年と比べて捕獲数や被害などがどのくらい増えたのか、また、現状の害獣対策・駆除について伺う。

望 現行のイノシシ対策用の電柵ではシカの侵入に対応できないので、被害を最小限に抑えるためにも、他の自治体とも情報を共有し、対策を取れるように備えておくことを要望する。

問 職員の反応はどうか。

答 開所日を週5日から3日に縮小したことから、2日分の時間を別の業務に充てることで、当初想定どおりの効果が出ている。



大阪南部におけるシカ分布拡大のイメージ

ぎ か い の 窓

7月20日、南河内郡町村議会議員研修会がくすのきホールで行われた。テーマは「温故知新と居安思危で南海トラフ地震を乗り越える」、福和伸夫名誉教授から話を聞いた。実にストレートに問題提起され、防災に対して意識を新たにした。また、歴史的に見た大災害（疫病）等の位置付けや、考え方の角度は刺激的で様々に思慮される。



南河内郡町村議会議員研修会

8月23日、大阪府町村議長会のセミナーに参加し、「行政組織を動かす一般質問とは」とのテーマで、定野司教授から話を聞いた。行政の経験から、一般質問の在り方や考え方について生々しく語られ、自身の経験と照らし合わせ参考になった。

9月25日、保健センター「ひまわり」に來られている父母、子供たちにお願ひして、センターで仮住まいの議会事務局が本庁への引越しの為、お別れの懇談会を開いていただいた。たくさんの「王子・王女」に囲まれ、緊張のひと時だったが、保護者の生の声が聴け、非常に有意義な時間だった。細かい話は後日とするが、毎日の生活で起こる様々な出来事は、この様な対話の場でしか聞き取れないことを今更ながら実感した。これからこのような機会を積極的に設け、できうる限り意見として行政に反映できるように行動するのが我々の責務だと感じた。

議会を傍聴しませんか



次回定例会の予定

12月5日(火)から12月22日(金)です。
 12月5日(火) 本会議 午前10時
 12月7日(木) 文教建設常任委員会 午前10時
 12月8日(金) 総務民生常任委員会 午前10時
 12月22日(金) 本会議(一般質問) 午前10時

上記日程は、状況により変更になる場合があります。傍聴される場合は、議会事務局までご確認ください。

議会事務局は新庁舎3階に移転しました。12月定例会は、新庁舎で開催します。1階フロアの設置モニターにより議会の様子を見ることが出来ます。

議会事務局 TEL 0721-26-7168
 議会事務局、議場は村役場新庁舎3階

雑感

地方公務員の希望者が減り退職者も増えているらしい。私は待遇の改善は当然であるが、何よりやりがいのある職場にすることが大事だと思う。

村では、ここ3年で勤務年数が10年未満のこれからという職員の退職者が18人、約21パーセント(常勤85人に対し)で若手職員の退職は深刻になっている。これは将来、昇進しても待遇はそれほど変わらない

ことも一因である。この公務員離れを「今どきの若者の考え方」とひとくくりにせず、何が原因か分析する必要がある。

課長など管理職になれば管理職手当が支給されるが、残業や休日出勤の手当はなく手取額はあまり変わらないという。

また長時間労働があたり前になってきているようでは、職員希望者が増えるはずもない。上層部は人権を重視し、職員に過度な負担がかからぬよう配慮すべきと思う。

藤浦

広報編集委員会

委員長 服部幸令 副委員長 田村 陽
 委員 井上浩一 委員 徳丸初美
 議長 千福清英